

今年度の研修の成果と課題

(1) 成 果

- ・教科の基礎・基本を単元や一単位時間内で考えて授業に臨むことは、本時のねらいがはっきりし、評価規準を考え合う上でとても有効であった。学習指導要領に立ち返ることを常に意識していきたい。
- ・課題に対して自分の考えをしっかりとらせることは、練り上げの場で友達とかかわって考えを深める際に有効であった。
- ・自分の考えを説明する際の書き方を共通にさせたことは、論理的に説明することに効果があった。

(2) 課 題

- ・思考力に関する評価では、一単位時間の中では評価A、Bのそれぞれの姿が見取りにくい。また、評価Cに対する支援も難しい面があった。個々の考え方や変容が分かるように見取り方を工夫していきたい。
- ・自分の考えだけでなく友達の考え方を自分なりに考え、説明し合う活動(他者説明)は、多様な見方・考え方を養うことにつながった。思考力をはぐくむために今後も取り入れていきたい。
- ・課題提示や発問が大切であると考え、授業前に検討・吟味を繰り返して行ってきたが、実際に授業を行ってみると教師の予想どおりにはいかず、反省させられることや子どもたちから学ぶことが多々あった。より子どもの意識に沿った課題や発問を吟味することと子どもを見取る力、柔軟な対応等が必要である。
- ・子どもがよい発言やつぶやきをしてもなかなかかわり合わせることが難しかった。計画どおりに進めようとする教師の思いが強いことも原因の一つと考えられるが、子どもがよい発言をしたとき、それを聞き逃さず、子どもに切り返し、かかわらせる力を私たち教師はつけていかなければならない。日々の授業改善・授業力の向上に今後も努めていきたい。